

〈論文〉

長野県方言のモード

大 橋 敦 夫

はじめに

方言を扱った書物のうち、学術書ではない方言書に注目する。啓蒙を主とする編集方針の中で示される方言的特徴が、どのようなものなのか、地元の長野県方言を例に観察する。全体を通覧することによって、一般的に理解されている長野県方言の典型（あるいはモード）を明らかにしてみたい。

なお、調査の対象書籍には、次の区分を設けた。

Ⅰ 児童書

Ⅱ 一般書

Ⅲ ご当地検定

Ⅳ 方言辞典（啓蒙的なもの。Ⅰ～Ⅲとの対照のため）

1. 児童書の検討

長野県内の公共図書館等で、閲覧に供されている次の10点を調査した。

- ① 『郷土の研究 方言をしらべよう ④中部地方』

監修・佐藤亮一／指導・山田達也 ベネッセ・コーポレーション 1990.3

- ② 『まんが 方言 なんでも事典』

監修・文 三井はるみ 金の星社 1998.3

- ③ 『新レインボー方言辞典』

監修・金田一春彦 学習研究社 2002.10

- ④ 『中部の方言——調べてみよう暮らしのことば』

監修 井上史雄・吉岡泰夫 ゆまに書房 2004.3

⑤ 『小学生の まんが方言辞典』

監修 金田一春彦 学習研究社 2004.12

⑥ 『NHK21世紀に残したい ふるさと日本のことば ③中部地方』

監修 NHK放送文化研究所 学習研究社 2005.3

⑦ 『みんなが知りたい! 「いろんな方言」がわかる本』

ペンハウス著 メイツ出版株式会社 2006.6

⑧ 『ポプラディア情報館 方言』

監修 佐藤亮一 ポプラ社 2007.3

⑨ 『方言と地図』

監修 井上史雄 フレーベル館 2009.2

⑩ 『ひと目でわかる 方言大辞典』

監修 篠崎晃一 あかね書房 2009.3

つづいて、以下に、それぞれの書籍が扱う内容を列挙する。児童書の場合、殆どが、語彙のみを掲げており、語法に及ぶものは少なく、アクセントに触れるものが散見する。

《掲出の凡例》(1-1. ～3-2. 共通)

○原文の掲出順は、個別に方針があるが、本稿では五十音順に統一して並べた。

○掲出語の仮名表記は、原文のままとした。

○掲出語の括弧内は、記述されている共通語の意味。主なもののみに絞った場合がある。

1-1. 児童書の掲げる「長野県方言」の実例

① 『郷土の研究 方言をしらべよう ④中部地方』(1990)

アクサレル(子どもが悪ふざけをする)	カタッコ(ー)(がんこ)
アサゲ(朝)	ガッタ(わんぱくな子ども)
アズクミカム(あぐらをかく)	カーバル(かわいて、こわばる)
アダケル(ひるま遊びつかれた子ども	キスキスル(いばっている)
が、寝てから手足をばたつかせる)	キブッセ(親しみにくい性質)
アバサレル(ひどくあまえて、ふざける)	コワイ(疲れた)

アマッコ（おたまじゃくし）	シッタ(箱やおけなど、入れ物の底)
イサケ（あらそい）	
イジョ（一）ヤク（意地の悪いことを いって、子どもの神経をいらだたせる）	シナッコイ（やわらかい）
オシゲシル（食べ物などをしいる）	チョーラカス（からかって、 だます）
オツクバイスル(正座をする)	ハチャガル（木などにのぼる）
オドケル（びっくりする）	ブチャル（すてる）
ガイキ（病気のかぜ）	ヤグサイ（布や紙の燃える
カガラツク（用事もないのに、うろ うろする）	におい）

以上の25語、語彙のみの掲出である。冒頭に「ここで紹介することばは、県中部の松本市や大町市の方言です」との注記がある。

② 『まんが 方言 なんでも事典』（1998）

ズク（強い精神力。働く意欲。） ズラ（～だろう（推量）。）

以上の2語のみ。

③ 『新レインボー方言辞典』（2002）

ずくなし（根気がない人） ～ずら（～だろう）

以上の2語のみ。

④ 『中部の方言——調べてみよう暮らしのことば』（2004）

いただきました（ごちそうさま；食後のあいさつ）

かう（掛ける；鍵をかう＝鍵をかける）

～かや（～かな；いいかや？＝いいかな？）

じっと（たえず，しょっちゅう）

つもい（服などがきつい；靴がつもくなった＝靴がきつくなった）

とぶ（走る；とべとべ＝走れ走れ，とびっくらしよー＝かけっこしよう）

へら（舌；へら囁んじゃって＝舌をかんでしまっ）

まえで（位置・場所の「前」；前での机を動かして＝前の机を動かして）

以上の8語で、例文が豊富（括弧内はその一部）。

⑤ 『小学生の まんが方言辞典』（2004）

いかず（行こう）	～ずら（～だろう）
おやげねー（かわいそうだ）	ぞぜーる（甘える）
おやす（終わりにする）	だれどう（だれとだれ）
しょー（人びと）	てきない（つかれた）
しょうしい（はずかしい）	ひとつきり（しばらく）
ずく（おしまず働く力）	もーらしー（かわいそうだ）
ずくなし（なまけもの）	

以上の13語で、「東京式のアクセントで話すのが特徴」との指摘がある。

⑥ 『NHK21世紀に残したい ふるさと日本のことば ③中部地方』（2005）

いかず（行こうよ）	ずく（元気）
おかたしけ（心から）	ずら（だろう）
おつかい（こんばんは）	てきない（つかれた）
ごしたい（つかれた）	はあるかぶり（ひさしぶり）
しょうしい（はずかしい）	みやましい（かいがいしく働く）

以上の10語は、NHK長野放送局が視聴者から募集した便りをもとに選び出されたものである。

⑦ 『みんなが知りたい！「いろんな方言」がわかる本』（2006）

しょびしょび（みずみずしい）	つもい（きつい）
～すか（～ものか）	はしゃばしゃ（からりと乾いた）
せっぺせっぺ（いっしょけんめい）	へー（もー）

以上の6語で、他書が採りあげない語（オノマトペなど）が多い。

⑧ 『ポブラディア情報館 方言』（2007）

イタダキマシタ（ごちそうさま でした）	トブ（走る） ～ナンダ（～ナカッタ）
ゴシテー（ひどくつかれた）	～マイカ（～しょう）

～ジ（～ですよ）

～ズ（～しよう）

ズク（せっせと働く力）

～ズラ（～だろう）

ツモイ（服などがきつい）

～ツラ（～しただろう）

マル（おしっこをする）

ミヤマシー（手ぎわがよい）

モーラシー（かわいそうだ）

ヤクヤク（わざわざ）

～ラッシー（～なさい）

以上の16語。使用地域の注記もある。また、合拗音や連声の例についても挙げている。

⑨ 『方言と地図』(2009)

いかず（行きましょう）

おやげねえ（かわいそう）

かがっぺえ（まぶしい）

かがっぼしい（まぶしい）

じょんのびだ（楽だ）

ずく（何かをやるための意志や行動力）

ずくーやむ（なまける、手をぬく）

ずくがぬける（気力がなくなる）

ずくなし（なまけもの、おくびょう
もの）

ずら（だろ？）

せう（言う）

とぶ（走る）

ななかまっと（いじめちゃだめだよ）

ひどろっこい（まぶしい）

ひどろってえ（まぶしい）

まえで（前）

みやましい（働きものだ）

むごい（かわいそう）

めた（全然）

もうらしい（かわいそう）

もげえ（かわいそう）

以上21語で、キーワードとなる「ずく」は、派生語も採りあげている。また、全県の地図が示され、同意表現の使用地域による違いを明らかにしている。

⑩ 『ひと目でわかる 方言大辞典』(2009)

行かず（行こう）

行かん（行かない）

かう（鍵などを掛ける）

～ず（～しましょう）

ずく（やる気や元気）

～ずら（推量）

～つら（～しただろう）

とびっくら（かけっこ）

とぶ（走る）

まえで（位置や場所の「前」）

もーらしー（かわいそうだ）

わにる（はにかむ）

つもい（きつい）

以上の13語に加え、県内の方言区画とアクセント(東京式)の指摘、否定や推量表現の地域差について触れている。

1－2. 児童書の掲げる「長野県方言」のモード

既述のごとく、語彙中心の掲出であり、音韻を採りあげる場合は、東京式のアクセントであることを指摘するものが主である。書物の対象年齢を考慮してか、まとまった語法の記述はない。

よって、児童書の掲げる「長野県方言」の語彙のモードは、次のとおりとなる。

俚言：ずく・～ず（行かず）・～ずら・もうらしい

気がつきにくい方言：いただきました・とぶ・まえて

このうち、「～ず」「～ずら」は、語法上の特徴でもある。

2. 一般書の検討

2000年代半ばに起こった「女子高生方言ブーム」の渦中に出版された、「かわいい方言本」(注1)以後、娯楽的なもの・啓蒙的なものが相次いだ。それらを軸に、管見にふれた9点を対象とする。その書誌は、次のとおり。

- ① 『お国ことばのふしぎ大事典』ハイパープレス 青春出版社 2000.12
- ② 『都道府県別 気持ちが伝わる名方言141』真田信治 講談社 2005.1
- ③ 『ばり・でら 方言スラスラ帳』本の森編集部 コアラ・ブックス2005.11
- ④ 『しのぎき教授の なまらやさしい方言講座 日本語でなまらナイト』
監修 しんのぎきこういち 著 柳川圭子 小学館 2006.10
- ⑤ 『方言クイズ』井上史雄監修 講談社 2007.4
- ⑥ 『私の好きなお国ことば』小学館辞典編集部編 小学館 2007.4
- ⑦ 『とっさの方言』小路幸也・大崎善生ほか ポプラ社 2012.8
- ⑧ 『大方言』わぐりたかし ぴあ株式会社 2013.10
- ⑨ 『ふるさと発見! 信州あるある』しなのき書房 2013.7

2-1. 一般書の掲げる「長野県方言」の実例

① 『お国ことばのふしぎ大事典』(2000)

あて（役立たず）	だば（だばこくなよ＝いいかげんな 事を言うな）
いんごー（頑固な）	
うってげえす・うってげーし （口答えをする）	なるくなる（人当たりがやさしく なる）
おやげねえ（かわいそう）	は一るかぶり（久しぶり）
ごた・がった（やんちゃな・ わんぱくな）	ほける（りんごの水分が抜ける）
～じゃん（しようよ）	みやましい（きりっとすばやい）
しょびしょび（みずみずしい）	むごい（かわいそう）
だば（だばっくれる＝しらを切るな、 ふざけるな）	もうらしい（かわいそう）
だべ（だべやろうずら＝てきとうな やつだなあ）	もげえ（かわいそう）

以上の17例に加え、県人気質の解説に「ずく」（やる気、根性）を掲げている。
地域差（長野、上田・佐久、松本、南信）を説く例には、「かわいそう」の俚言の違いを選んでいる。

② 『都道府県別 気持ち伝わる名方言141』(2005)

～ジ（～ですよ）	フリータ（降っている）
ズク（骨惜しみしない気持ち）	ヤクヤク（わざわざ）
トブ（走る）	ワヤ（表層なだれ）

以上の6語で、若年層で激減している語（フリータ）や、信越の秘境・秋山郷方言（ワヤ）が独自の基準で挙げられている。

③ 『ばり・でら 方言スラスラ帳』(2005)

コワイ（固い）	モーラシー（かわいそう）
ズク（精を出す）	ヤクヤク（わざわざ）
マンズ（全く）	

以上の5語を、「長野県の方言ベスト5」として掲げるのみ。(順位はつけてないが、掲出順は、ズク・モーラシー・ヤクヤク・マンズ・コワイ。)

④ 『日本語でなまらナイト』(2006)

かう(掛ける)	なな〜と(やさしい禁止；
しった(下：促音挿入)	ななしと=するな)
じっと(しゅっちゅう)	ねー(否定；知らねー=知らない)
だろぁー(推量)	へら(舌)
つもる(服などがきつい)	ろぁー(推量)
とぶ(走る)	ん(否定；知らん=知らない)

以上の11語で、5つの方言区画から、代表例を示す一方、気がつきにくい方言(かう・とぶ・へら)を挙げている。

⑤ 『方言クイズ』(2007)

いただきました(ごちそうさま)	するしない(しませんか)
えれー(とっても)	たたる(建つ)
ごしてー(疲れた)	だに(強調；いいだに=いいのに)
ず(勧誘・意志；飲まず=飲もう)	とべ(走れ)
ずくなし(やる気がない状態、また その人)	まえで(前)
ずら(推量；うまいずら？=うまい でしょ？)	ん(否定；食べん=食べない)

以上の12例で、比較的若い年代で使われる「新方言」(するしない)に目配りしている。

⑥ 『私の好きなお国ことば』(2007)

かげどけ(家や森の北側に残っている陰雪が解ける)
ず(否定ではなく、行動する意味)
そうはいつでも(と、切り出して議論が延々と続く)

長野市生まれの気象エッセイスト・倉嶋 厚氏の執筆。氏独自の選択眼によるものである。

⑦ 『とっさの方言』(2012)

ごしたい
ずくがない
ずら

東京都生まれ、長野県育ちの壁井ユカコ氏の選。同氏執筆文章のタイトルが「ごしたくて ずくがねえずら」(疲れてなにもしたくない)。

⑧ 『大方言』(2013)

おつかい(おつかれ)	ずらない(動かない)
おやすみー(お先に)	せっぺせっぺ(一生懸命)
かんじる(寒い、冷える)	やくやく(わざわざ)
くねっばい(おとなびてる、 ませている)	やぶちゃ(大勢、みんな)
ずくがない(根気がない、 面倒くさい)	

作家・わぐりたかし氏の選。各語には、例文がついている。

⑨ 『ふるさと発見! 信州あるある』(2013)

うつかる(寄りかかる)	ぶちやる(捨てる)
いただきました(ごちそうさま)	べと(土)
お蚕様(蚕)	へら(舌)
おはづけ(野沢菜漬け)	りんごがぼける(スカスカになる)
おやげねえ(かわいそう)	ぼこ(子ども、幼児)
鍵をかう(戸締り)	まえで(前)
かんじる(冷え込む)	みぐさい(見た目がわるい)
ずく(何かのエネルギー)	水くれ当番(くれる=あげる)
～するしない(同意を求める)	めた・めった(やたら、余計に)
セルリー(セロリ)	もうらしい(かわいそう)
たたった(建った)	持ちに来て(取りに来て)
～でした(自己紹介; ○○です)	よせる(取り込む)

とびっくら（かけっこ）

わにる（人見知りする）

なから（ほとんど、おおむね）

以上、27語。俚言を中心に、気がつきにくい方言も積極的に取り上げ、地域差（語彙・アクセント）にも、言及する。

2-2. 一般書の掲げる「長野県方言」のモード

児童書に比べ、語彙以外の分野に言及するものが多いと予想されたが、結果は、むしろその逆で、ほとんどが語彙の掲出に徹している。また、その収録範囲は拡散しており、モードとなる例は、以下のとおり、少数である。

俚言：ずく・もうらしい・やくやく

気がつきにくい方言：とぶ

3. ご当地検定の検討

2014年現在、確認できる長野県内の「ご当地検定」は、次の3種。

- ① 「信州検定」（信州観光文化検定協会 2006年～）
- ② 「松本検定」（松本検定実行委員会事務局 2007年～）
- ③ 「NAGANO検定」（NAGANO検定実行委員会 2014年～）

それぞれの過去問題集やガイド本などによって、出題の「傾向と対策」を論じてみたい。

3-1. ご当地検定で出題される「長野県方言」の実例

- ① 「信州検定」

分析の対象とした資料は、次の2点。

- ・『信州検定 参考問題集』（市川健夫監修 加瀬清志著 信濃毎日新聞社2006.2）

ずく（やる気）

もうらしい（かわいそう）

……方言の問題は2題。

- ・『信州観光文化検定試験過去問題集』（信州観光文化検定協会編・発行）

ささらほうさら（めちゃくちゃ）頻度2 わにる（人見知りする）

自転車をつく（押してあるく）

……第1回～第3回分を収録。方言の出題は、100問中1～2題（計4題）。

単語の意味を問うものが主で、正解は一つだが、解答は選択肢となっているので、例示された語を以下にすべて掲げる。

しょうしい

ぼける

ずくがでる

もうらしい

ちょっこづく

やぶせたい

② 「松本検定」

第2回から基本コースのほか、上級コース・ジュニアコースが加わった。まず、基本コース7回分を通してみると、全100問中、1～2題の出題で、俚言の意味を問うものが主である。解答は、選択式なので、例示された語をも含めて、以下に列挙する。

イボツル（ふてくされる）

ゾウサネエ（手間がかからない）

オゾイ（よくない）頻度4

ツモイ（きつい、窮屈）

オンジョ（泣き言）

テキナイ

カワイヤ（気の毒）

ハカイク（はかどる）頻度2

ゴシタイ（疲れる）頻度3

ヒヤカス（水に浸す）

コズム

ワニル（照れる）頻度4

ズクナシ（気力がない）頻度2

次に、上級コース6回分を見る。こちらは全100問中1題の出題。出題の形式は、基本コースと同様。なお、第2回における出題はなく、第3回からの列挙になる。

イボツル（すねる）

コズム（沈む）

オゾイ（良くない）

ズクナシ（気力がない）

オテショ

ツモイ（窮屈）

オロヌク（間引く）

ハカイク（はかどる）頻度2

オンジョ（文句）頻度2

ヒヤカス

カワイヤ

ワニル

最後にジュニアコース。こちらも全100問中1題の出題。俚言の意味を問うが、例文の中から、正解を探す形式が主となっている。

イボツル

ツモイ

オツクベ（正座）頻度2

ハカイク

コク

③ 「NAGANO検定」

2014年2月に始まったばかりの新しい検定である。分析の対象は、事前に発行された下記の資料による。

『NAGANO検定 公式ガイドブック』NAGANO検定実行委員会編・発行

2013.11

同書では、2頁にわたって、俚言（50語）が意味と使用例と共に列挙されている。

アイサ（間）	シンノ（疲れた）
イジカメル（いじめる）	ズク（根気）
オイライ（寄っていく）	スルシナイ（～しませんか）
オシコクル（力を入れて押す）	セウ（言う）
オッカウ（あてがう）	センダッテ（この間）
オッコレル（壊れる）	タタル（建つ）
オドケル（驚く）	ダラズ（～だろう）
オラホ（自分の家）	チョックラ（ちょっと）
オロノク（間引く）	チョンコズク（お調子づく）
ガアタク（わんぱく）	トキニ（とりあえず）
カガッポイ（まぶしい）	ナシテ（なさってください）
カナッコオリ（つらら）	ノケル（抜ける）
カンマス（掻き回す）	ノノサマ（仏様、神様、お月様）
キナシデ（うっかりして）	ノマズ（飲もう）
クジナ（たんぼぼ）	ハンペタ（半分）
クワズ（食べよう）	ヒッカク（割る）
ゲエニ（強く）	ベチャル（捨てる）
ゲエモネエ（無駄）	ホトバス（水に浸す）
ゲエロ（蛙）	マエデ（前）
ゴシテエ（疲れた）	ミグサイ（みっともない）
ゴタ（馬鹿）	ミズクレ（水をやる）

ゴムサイ（汚い）

モウラシイ（かわいそう）

コワイ（固い）

ヤダクナル（いやになる）

シナイ（～だよね）

ワケシヨ（若者）

シミル（寒い）

ワニル（人見知りする）

3-2. ご当地検定における「長野県方言」のモード

3種の検定は、対象地域がそれぞれ異なり、限定的だが、並べてみると、それぞれの特徴と共に、全県的に共通するものも、ハッキリとしてくる。

① 「信州検定」頻出の俚言……ささらほうさら・ずく・もうらしい

② 「松本検定」頻出の俚言……イボツル・オゾイ・オンジョ・ゴシタイ・ズクナ
シ・ツモイ・ハカイク・ワニル

③ 「NAGANO検定」特有の俚言……スルシナイ・ダラズ・ホトバス

○3種の検定に共通する俚言……ずく（ずくなし）・わにる

4. 方言辞典の検討

次の2点を調査した。

① 『最新 ひと目でわかる 全国方言一覧辞典』江端義夫・加藤正信・本堂寛
編 学習研究社 1998.12

② 『都道府県別 全国方言小辞典』佐藤亮一編 三省堂 2002.5

以上の「長野県」の部分を見る。項目執筆者は、いずれも沖裕子氏（ネイティブの方言研究者）である。

4-1. 方言辞典における「長野県方言」の実例

① 『最新 ひと目でわかる 全国方言一覧辞典』（1998）

イタダキマシタ（ごちそうさまでした） ハカイク（はかどる）

ゴーサワク（腹が立つ） ヒトツクリ（しばらく）

～ジ（～ですよ） ヘラ（舌）

～スカ（～ものか） マエデ（前）

ズク（精を出すこと） ミヤマシー（きりっとすばやい）

ゾゼール（甘える） メッタ（めっきり）

タタル（建つ）

ダレドー（誰と誰）

ツモイ（入れにくくてきつい）

トブ（走る）

ハールカブリ（久しぶりだ）

モーラシー（かわいそう）

ヤクヤク（わざわざ）

ワカイショー（若い人達）

ワニル（はにかむ）

副題に「松本市を中心に」とあるとおり、全県で使われるものとともに、松本方面でよく聞かれる語（～ジ・ツモイ・ミヤマシー）が挙げられている（全21語）。概説で、方言区画・音声・文法の特徴にふれている。

② 『都道府県別 全国方言小辞典』（2002）

うつかる（中信.よしかかる）

おつくべ（正座）

おやげねー（東南信.かわいそうだ）

おやす（中信.終わりにする）

ごーさわく（悔しくて腹が立つ）

こうで（手首の筋が痛くなること）

ござんす（北中南信.ございます）

ごしてー（ひどく疲れた様子）

こずく（手間を惜しまない働き）

ごわす（東信.あります。丁寧語）

こんぼこ（中南信.幼児.赤ん坊）

～じ（中信.～ですよ）

しみる（冷える。凍りつく）

しょー（東中南信.人々.衆）

～ず（～しよう）

ずく（惜しまず働く力）

ずくなし（怠け者。ぐうたら）

せう（東北信.言う）

ぞぜーる（子供が甘える）

～なさんす（北中信.尊敬語）

なっちょ（北信.どう）

はしゃばしゃ（中東信.からりと
かわいた様子）

ひどろってー（中南信.まぶしい）

ぶちやる（中南信.捨てる）

へー（もう）

～ましょ（中信.～しなさい）

まつめる（中信.面倒をみてまとめる）

までー（ていねい）

まる（中北信.排泄する）

みやましー（中南信.手際がよい）

めっためった（北東中信.いよいよ）

もーもーしー（北中信.うとうしい）

もーらしー（北中信.かわいそうだ）

やくやく（わざわざ）

～ら（っ）し～（南信.～なさい）

わにる（はにかむ。人見知りする）

つもい（中南信.服などがきつい）

とびっくら（かけっこ）

以上の全38語を五十音順に挙げる。使用地域の注記も添えられている。簡潔ながら、方言区画・アクセント・語法にふれ、気づかれにくい方言（雪ガ舞ウ(=降る)・イタダキマシタ(=ごちそうさま)・トブ(=走る))も注記している。

4-2. 方言辞典における「長野県方言」のモード

2種類の資料という数の制約があることを承知で、まとめてみる。

俚言：ずく・つもい（中南信）・みやましー（中南信）・やくやく・わにる

気がつきにくい方言：いただきました・とぶ

否定表現：ネー（＜ナイ）；東日本方言的特徴（南信では、ン；西日本方言的）

意志・推量表現：ズ・ズラ・ラ；中部方言的特徴

最後に、参考までに、郷土地理の教科書『やさしい長野県の教科書 地理』（しなのき書房 2008.2）の実例をみておきたい。使用地域等の区分けはなく、以下の10例を掲げる。

いかず（行きましょう） じっくになる（びしょねれになる）

えぼをつる（ふてくされる） じやん ばやん（爺さん 婆さん）

きんな（昨日） ずくなし（怠け者）

こく（言う） とぶ（走る）

さ、いけさ（さぁ、行きましょう） 駅までとんでいかず(駅まで走って行こう)

これによって、絞ると、俚言では「ずく」、気がつきにくい方言では「とぶ」がモードとなる。

5.まとめ

方言研究書と比べ、一般の方言書の特徴は、つまるところ理解しやすさを旨とした語彙の掲出を主とするところにあると言える。よって、本稿で検討してきた長野県方言のモードも、語彙についての結論を述べることとなる。

俚 言：ずく（ずくなし）・～ず（行かず）・～ずら・もうらしい・やくやく・

わにる

気がつきにくい方言：いただきました・とぶ・まえで

新方言：～するしない

語彙以外の分野で、触れられている書籍に共通する指摘は、

アクセント：東京式アクセント

音 韻：合拗音（「菓子（クッシ）」）・連声（「本は（ホンナ）」）ともに、奥信濃・北信

語 法：否定（「行かん（行かない）」）南信、推量（「～ずら」）奥信濃以外となる。方言研究書で述べる要点は、（当然ながら）最小限出されている。

注1. 木部暢子・竹田晃子・田中ゆかり・日高水穂・三井はるみ編著『方言学入門』

三省堂 2013.9 102－103頁参照。具体的には、

『ちかっぱめんこい方言練習帳!』（主婦と生活社 2005）

『使える方言あそび』（ブティック社 2005）

『ザ・方言ブック』（日本文芸社 2005）

などが、その例。